



板一中 小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）



板二小ホームページ

QRコード

板二だより

学校情報化優良校・国連ユネスコスクール認定校

板橋区教育委員会研究奨励校・小学校教科担任制等加配校

令和8年度5月号

令和8年4月30日

板橋区立板橋第二小学校

校長 小澤 裕行

風薫る5月

校長 小澤 裕行

新緑がまぶしく、さわやかな風が心地よい季節となりました。新年度が始まり、早くも一か月が過ぎようとしています。子供たちは新しい学級や友達、先生との生活に少しずつ慣れ、それぞれの場所で一生懸命に学校生活を送っています。

さて、この時期に保護者の皆様に最もお伝えしたいことは、「子供たちの心と体の変化に寄り添うことの大切さ」です。4月は緊張感の中で頑張ってきた子供たちも、5月に入る頃には疲れが出やすくなります。環境の変化に適応しようと努力してきた分、気持ちが不安定になったり、体調を崩しやすくなったりすることもあります。ご家庭におかれましては、お子様の様子に目を向け、いつも以上に話を聞いていただいたり、ゆっくりと休める時間を確保していただいたりするなど、安心できる環境づくりにご協力いただければ幸いです。

さて、昨年度の学校便り1月号でも少し説明しましたが、本校が大切にしている取り組みの一つに「自己調整学習」があります。これは、子供たちが自ら学びを進める力を育てる学習の在り方です。具体的には、「何を学ぶのか」「どのように取り組むのか」「どこまでできたのか」を自分で考え、振り返りながら学習を進めていくことを指します。これからの社会では、与えられたことをこなすだけでなく、自ら課題を見付け、考え、解決していく力が求められます。いわゆる「主体的な学び」です。そのため本校では、授業の中で子供たちが見通しをもち、主体的に取り組む場面を大切にしています。また、学習の振り返りを通して、自分のよさや課題（今の自分の姿）に気づき、次の学びへとつなげていく力の育成にも力を入れています。

しかしこのような力は一朝一夕に身に付くものではありません。日々の積み重ねの中で少しずつ育っていくものです。ご家庭におかれましても、「今日はどんなことを考えたの？」「どんな工夫をしたの？」といった声かけをしたり、一見これって学習？と思うようなことでも、子供たち自ら、考え調べまとめたりしていることは認めていただいたりすることで、子供たちの学びをより深めることができます。結果だけでなく、過程や努力に目を向けていただければ幸いです。家庭学習においても、教師側が「これをやってください」と課題を与える宿題型から、自ら家庭で学習する内容を考え実行していく自主的な家庭学習への変換も、一人一人の子供の実態や学年の発達段階を考慮しながら少しずつ取り組んでいきます。なお、本校は学びのエリア（板二小 板六小 板七小 板一中）合同で、区内の全小中学校に先駆け、これからの教育の主流となるであろう自己調整学習の研究に取り組んでいます。

最後に、5月下旬には運動会を予定しております。運動会の練習や準備においても、子供たちは自分の目標をもち、仲間と協力しながら取り組んでいきます。こうした経験もまた、自己調整する力を育む大切な機会となります。当日に向けての過程も含め、子供たちの成長を温かく見守っていただければと思います。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。